

令和6年度 第4回二宮町政策評価委員会 議事要旨

開催日時		令和7年2月20日（木） 10:00～12:00
開催場所		二宮町役場 第1委員会室
出席者	委 員	出席7名 大田 博樹 委員、帰山 訓 委員、荒木 雅幸 委員、 渋谷 佳代子 委員、井通 隆正 委員、上村 舞子 委員 川平 和代 欠席0名
	町	政策部長
	事務局	政策部企画政策課 3名
傍聴者数		0名
会議次第		1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 議事 （1）二宮町総合戦略評価の意見集約結果について （2）二宮町総合戦略評価の意見書（案）について （3）二宮町行政評価の意見書（案）について （4）その他 4. 閉 会
配布資料		資料1 総合戦略施策評価シート（令和5年度実績）意見集約結果 資料2 二宮町総合戦略評価について（意見書 総論）（案） 資料3 二宮町行政評価について（意見書 総論）（案） 参考資料1 総合戦略の施策に関連する予算等事業の基礎評価シート 参考資料2 行政評価施策評価シート（令和5年度実績）修正反映版

【議事要旨】

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

（１）二宮町総合戦略評価の意見集約結果について

（主な意見交換等）

施策 1-1 ～施策 3-1

施策 3-2 「仕事と子育ての両立支援」

○前回の委員会で保育園の待機児童に関する意見が出ていたと思うが、今回の資料では外部意見として含まれていない。

○KPI の実績で待機児童を 0 人としているが、年度途中では発生しており、実情と乖離していることから、設定方法を見直した方がよいと思う旨発言させてもらった。また、その対策として、待機児童数の基準を 4 月 1 日にするのではなく、各月の平均とする提案があった。

◎KPI に設定している待機児童数については、4 月 1 日時点ではなく各月を平均した数値を用いる。又は、定員に対する余裕率などに見直す旨を意見に追加すること。

○保育士が足りていないため、保育園の定員を増やすことは難しいということだが、保育士を増やす努力をしなければ、町内のこどもの数も増えないと思う。実際に、年度途中で保育園に入れずに困っている人もおり、こどもを出産する時期を気にする必要がないようにしてほしい。

●担当でも保育士が不足していることは課題と認識しており、随時、保育士の就労支援も実施しながら募集をしているところです。今回のご意見は改めて担当に伝え、確保に向けた対策に継続して取り組むよう努めます。

○人材不足は全国で起きていることなので、あらゆる手段を考えなければいけない時期になっているように思うが、他自治体はどのような対策を実施しているのか。

●他自治体でも就労支援として、保育士に対して支援金を給付しており、各自治体で金額の設定には違いがあります。

○現在、町のホームページ上のどこにも待機児童に関する情報がない。そのため、移住を考えている人が情報を得ることができず、転入した後に入園ができないという事態が生じないよう、何らかの形で情報発信の方法を検討してほしい。

◎情報発信をするにあたり、良い情報ばかりではなくマイナス面も伝わるようにしなければ、移住者等に「移住相談会で聞いていたことと違う」という感情が生まれ、より大きなイメージダウンとなってしまう可能性があるため、悪い情報こそ先に出した方がよいと思う。

◎保育園の待機児童の状況など、子育て環境に関する情報発信を積極的に行う必要がある旨を意見に追加すること。

施策 4-1、施策 4-2

意見なし

（２） 二宮町総合戦略評価の意見書（案）について

（主な意見交換等）

- 先ほど意見のあった保育園の待機児童に関して、意見書にも記載があった方がよいと思う。
- ◎意見書の本文中、１点目として挙げている子育てのしやすいまちづくりに関する内容に、待機児童についての記述を追加すること。
- ３点目の「町内会などに加入しやすい環境づくりに繋げるよう研究を進めてください。」としている意見の具体例として、町のホームページに町内会のイベント動画を掲載できるスペースを設け、LINE などからも気軽に視聴できる環境をつくれば、若者の中にも町内会の活動に興味を持つ人が生まれてくるのではないか。
- 町内会は 70 代以上の人が多く、動画を撮影して掲載するといった、デジタル機器の取り扱いは非常に負担が大きいと思う。実際にデジタル化の必要性は理解しており、呼びかけやアイデアはあるものの、いざ取り入れるという段階に踏み込めていないのが現状である。ただ、町のホームページに町内会のページを設けるというアイデアはよいと思う。
- ◎町のホームページ上で、町内会で行われている行事などの動画を見ることができれば、外部の人にも興味を持ってもらう機会になり、移住者や観光客の増加にも期待できることから、取り組みとしては非常によいのではないかと。
ただ、町内会の行事となると町のホームページに掲載することが難しいものもあると思うので、例えば、町内会のホームページを作成し、町はそこへのリンクを貼るということも考えられる。
- 町がプラットフォームを用意することは可能ですが、各自治会で更新を続けることができるかという課題があると思います。また、自分たちで運営したいのか、それとも町が主導してほしいのかで、運用形態は大きく変わってくるため、検討するのであれば、来年度以降の地区長連絡協議会などでお話しできればと思います。
- 町が YouTube で移住等の情報を発信している公式アカウントがあるが、そこで地区のイベントを随時掲載することはできないのか。
- 公式アカウントで掲載することは、行政の立場上、個人情報の管理などの面で制約が多いため難しいと思います。ただ、自治会の活動のご紹介としてリンクを掲載することは可能です。
- 地区で実施しているどんど焼きなど、イベントの風景を SNS でアップしている人もおり、それ自体は誰でもできることなので、地区の役員などが Instagram などでも気軽に発信できる仕組みがあれば、移住者などへの PR になるのではないかと。
- ◎各町内会の情報発信について、町としても HP の活用など協力できる体制を整えることとする旨を意見に追加すること。
- 町内会について、私の地区はアパートが多く、入居者がいても入会される方は少ない。広報の配布や町内会への勧誘も難しいのが現状である。町が個人情報を提示す

ることはできないと理解はしているが、改善策を講じる必要があると感じている。
●現在、町では転入届を持ってきた方に対して、居住地区の町内会を紹介したうえ、加入のご案内をしています。

◎加入することのメリットがなければ新規加入者は増えないと思う。

○地区としてもメリットを感じることができる活動をする必要があると思っている。

◎地域の備蓄などは相互扶助組織に依存している面も大きいので、災害などが発生すると地域コミュニティの重要性に改めて気づくこともあるが、平時はそのような考えに至らないように思う。

○地域でお祭りなどを実施すると、小さいこどもは喜んでくれるが、こどもの数は年々減少している。

◎地域創生に興味を持っている大学や研究機関は多いので、地域コミュニティの活性化に向けた協力を要請することも考えられる。大学では実際に過疎地域で活動をしている事例もある。

○現在、富士見が丘二丁目地区に対し、大磯町の石神台地区から連携の話を持ち掛けられており、これも改革のひとつになるのではないかと考えている。今後、先方の地区長とも話し合いを進め、何ができるかを模索していきたいと考えており、これが新しいアイデアを生むきっかけになることを期待している。

○石神台地区でも高齢化や人口減少といった課題はあると思うので、地区としてどのような対策を考えているかといったアイデアに触れるよい機会になるのではないかと。

○これまでの議論の中で、二宮ブランドの認知度や、新規就農者の確保、農地の活用などといった課題に対し、従事者だけでなく町民や関係者を積極的に巻き込んで進めていくべきという趣旨の意見が挙がっていたと記憶している。ただ、現時点の意見書には商工業や農林業に関する意見が含まれていないため、そこに関して追加してはどうか。

○意見書に記載している4点の意見を選んだ基準にもよるが、可能であれば追加してよいと思う。

◎5点目として、施策4-1や4-2に外部評価意見として挙げている、二宮ブランド醸成のための広報等を再検討すること、農業に気軽に関わることができる施策を展開していくことの2点を追加すること。

◎それでは、事務局は本日の意見を取りまとめたうえ、意見書を修正すること。

●承知いたしました。修正後の意見書の最終調整については、委員長に一任とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(異議なし)

(3) 二宮町行政評価の意見書(案)について

(主な意見交換等)

○ラディアンの大規模改修などについて、町内には大規模な建設事業に関わった経験

を有する方など様々な人材がおり、町民意見募集を実施した際には、そのような方からの意見や提言があったと思う。今後事業を進めていくうえでは、公募型のプロポーザル方式による事業者選定を実施するなど、官民連携による実施に努めてほしい。

◎ラディアンを中心とする新しい公共施設については、民間の意見を取り入れるよう意見書に追加すること。

◎総合戦略の意見書と比較すると、内容が抽象的に思える。

○今のままだと、意見の詳細を知りたい場合に、施策評価シートを見なくてはならない。

●総合戦略は、人口減少に対応するためにどのようなまちづくりをすべきかを定めた計画であることに對し、こちらはまちをどのように運営していくかを定めた総合計画に関するものであるため、どうしても総花的な内容になってしまうところです。意見書の作成にあたっては、一部分のみ詳細にしてしまうと違和感が生じるため、文章量を増やして全体的に具体的な内容にすることというのはできるかと思います。

○読み手に伝わりやすくするという点では、全体的に内容を掘り下げた方がよいと思う。

●2点目と3点目の意見は全体に対するものですが、1点目が具体的な内容への言及となっているため、1点目の意見の中で6つの施策にそれぞれに触れることができるのではないかと思います。

◎1点目だけ具体的な事例が記載され、2点目と3点目が抽象的になっていることに違和感があるので、2点目以降にも具体例があると一般の方にもわかりやすいと思う。

●施策シートを読まずとも、概ねどのようなことを意見として求めているか分かる形になるよう修正します。

○意見書の内容が抽象的なため、施策評価シートでまとめている外部評価意見とのひも付けができず、何が課題になっているかわかりづらい。

○効果測定については、全体を通じた意見として掲載してもらいたい。有効なKPIを設定することで、取り組みに対する効果を的確に把握できるようにしてほしい。

●効果測定と効果検証については、全体を通じての内容ということがわかるよう、意見書に記載します。

◎気候変動や子育てなど、様々な項目があるにも関わらず、意見書には施設の改修と効果測定についての記載しかないことに違和感がある。

意見書は町の経営について大枠を述べつつも、詳細は施策評価シートを参照してもらうことにすればよいが、内容に事例やキーワードを含ませることで一般の方でもわかりやすいものにすること。

●複数の施策にまたがる内容を除いた、個別施策の特徴的な部分を抜粋する形として、もう少し踏み込んだものに修正します。

○今回の評価が、町の対応にどのように反映されていくのか確認したい。

- この委員会の場で諮る前に、すでに内部評価を実施しています。この政策評価委員会で、その評価内容についてご意見をいただいたうえ、改めて方針の見直しを行い、次年度の取り組みに反映することになります。
 - 委員会の意見を反映した結果は公表するのか。
 - 第6次総合計画の施策で言えば、令和10年度に実施する計画改定の際、委員会からの意見をどのように反映したかお示しすることになると思います。
 - 反映できた部分とできなかった部分を年度ごとに明らかにしてPDCAを回していかなければ、課題が残ったまま次に進んでしまい、委員会で話し合った内容が無駄になってしまうのではないか。
 - まずは、今回のご意見を受けたうえでの、最終的な町の方向性をお示ししますので、そちらをご覧ください。また、来年度の委員会において、改めて反映の状況などもご報告することもできると思います。
 - この評価で使用している様式なども含めて、評価の見直しをするよい機会になると思うので、これが活かせるPDCAの体系としてもらいたい。
 - 年度の早いタイミングで会議を行った方がよいのではないか。
 - 現在、年度末に集中している会議を予算編成前の時期までに早める方向で検討しています。
 - 今の時期に委員会を開催したとしても、次年度の予算は決まっているので、実際に町の予算に反映されるのは翌々年度の令和8年度になってしまう。ただ、この場の意見に対し、所管課がどのように考えているのかだけでも結果として示してもらえれば、今後、事業に取り組む際のひとつの指標として機能すると思う。その中で、実現が難しいと判断されるのであれば、その結果をもって次年度の議論に繋げることもできるのではないか。
 - 基本計画の期間が5年であることから、委員会の意見が反映されるには5年待たなくてはいけないことにもどかしさを感じる。ただ、委員会での意見は5年を待たなくとも次年度の予算などに活用してもらいたい。
- また、今回は令和5年度の実績に対する評価であったため触れなかったが、今年度発生した台風による洪水被害のような災害に対する対応について意見をすることは、次年度に取り上げると内容が薄まってしまう懸念があるのだが、どのように取り扱えばいいのか。
- 次年度の予算案はすでに公開しており、当然、その中では今回の災害に対する対策を盛り込んでいます。今後、町として取り組みを実施するうえで、不十分なことがあれば、次年度の委員会でご意見をいただければと思います。
 - ◎それでは、事務局は本日の意見をとりまとめたうえで、意見書を修正すること。
 - 承知いたしました。修正後の意見書の最終調整については、委員長に一任とさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- (異議なし)

(4) その他
特になし

【以 上】